Vローダ

組付要領書

VLD25XS

適用トラクタ：

XS18M
XS20M(T)
XS23M(T)　　XS23LM
XS25M(T)

補　足

本ローダはキャビン仕様トラクタには装着できません。

文書コードNo.：B72269010-1

⚠ 製品を安全に正しく組付けていただくために必ずお読みください。

このたびは弊社製品を
お買い上げいただきありがとうございます。

■ はじめに

● この組付要領書は本製品の組付方法と組付上の注意事項について説明しています。
組付けの前には必ずこの組付要領をお読みいただいて十分理解され、正しく安全に組付けていただき、最良の状態でご使用ください。

● なお、品質・性能向上などの理由で、使用部品の変更をおこなうことがあります。
その際には、本書の内容および写真イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。

● ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げ店か、お近くの販売店・ＪＡ（農協）またはサービス工場にご相談ください。

● **下記マークが付いた項目は、安全上特に重要な項目ですので必ずお守りください。**

危険 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

警告 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

注意 その警告に従わなかった場合、けがを負うおそれのあるものを示します。

取扱注意 その警告に従わなかった場合、製品の損傷や故障のおそれのあるものを示します。

補　足 その他、使用上役立つ補足説明を示します。

■ 組付ける前に

ローダを安全に組付けていただくために、下記の注意事項を必ず守ってください。
下記の注意事項を守らないと、死亡を含む傷害や事故、製品の破損が生じるおそれがあります。

■ 組付時の注意

- 平坦な場所にトラクタを移動させて、エンジンを止め、駐車ブレーキをかけてください。
- ロータリなどの後部作業機は、安全のため取りはずしてください。
- トラクタのフロントウエイトを取りはずしてください。
- 組付部品のサイズ・個数を確認してください。（「純正部品表」参照）
- フレーム・フロントステーなどのトラクタ回りの組付部品は、トラクタの回りに配置してください。
- スパナ・モンキー・プライヤーなどの組付けに必要な工具類をそろえてください。
- バルブ・ホースなどの油圧部品は、土やゴミを付着させたりキズをつけないよう、ていねいに取扱ってください。
- 部品の形状詳細は、改良のため予告なく変更することがあります。
- トラクタ回りの組付けは、全体の仮締めが完了した後、本締めをおこなってください。
- ホース・カプラなどは、同色のラベルのついたものどうしをつないでください。
- ホースは無理な曲げ・ねじれがかからない状態にして締付けてください。
- **ホース先端金具（ユニオン部）は全長 175㎜ 程度のスパナ・モンキーを使用して締付けてください。（締め過ぎますとネジがつぶれ、油もれの原因となります）**

⚠警告

- **ローダを組付ける前には必ずこの組付要領を熟知するまで読んでいただき、安全に正しく組付けてください。**
- **組付けの際は、ヘルメットや安全靴などの安全具を必ず着用してください。**
- **作業を始めるときは、作業範囲の前後・左右・上下の安全を十分に確認してください。**
- **ローダ着脱は必ずバケットなどのアタッチメントを取付け、硬くて平坦な場所でおこなってください。**

【守らないと】
死亡を含む傷害や事故につながるおそれがあります。

⚠警告

- **アームを上げ、エンジンをかけた状態で、ホースや油圧配管をゆるめないでください。**
- **アームおよびアタッチメントの下や作業範囲内には、入らないでください。**

【守らないと】
アームが急降下してアームの下敷きになるなど、死亡事故となるおそれがあります。

■ 適正締付トルク表

ローダの組付・点検・修理などをおこなう場合、ボルト・ナットは規定の締付トルクで締付けてください。［下表・単位は**上段：N･m**（下段：kgf･cm）］

補　足

1．ボルトの材質は、ボルトの頭に打刻してある数字で見分けます。
2．締付ける前に打刻数字を確認し、下表に従って締付けをおこなってください。ただし、11Tは８Tのトルクで締付けてください。
3．クラッチハウジングおよびエンジン取付部のボルトには、少量の油や潤滑剤を塗布してください。

強度区分 / 呼び	４T	６T	７T	８T	１０．９（９T）
M３	0.29～0.49 (3～5)	----------	----------	----------	----------
M４	0.78～0.98 (8～10)	----------	----------	----------	----------
M５	2.5～3.4 (25～35)	4.4～5.4 (45～55)	5.4～6.4 (55～65)	6.4～7.4 (65～75)	6.5～7.4 (65～75)
M６	4.9～6.9 (50～70)	7.8～9.8 (80～100)	9.8～12 (100～120)	12～14 (120～140)	12～14 (120～140)
M８	12～17 (120～170)	20～25 (200～250)	25～29 (250～300)	29～34 (300～350)	29～34 (300～350)
M10	21～29 (210～300)	39～49 (400～500)	39～44 (400～450)	49～54 (500～550)	49～54 (500～550)
M12	44～54 (450～550)	69～78 (700～800)	83～93 (850～950)	93～110 (950～1100)	93～110 (950～1100)
M14	64～78 (650～800)	98～120 (1000～1200)	120～130 (1200～1350)	130～150 (1350～1500)	150～170 (1500～1700)
M16	88～110 (900～1100)	130～150 (1300～1500)	150～170 (1500～1750)	180～200 (1800～2000)	220～250 (2200～2500)
M18	120～140 (1200～1400)	170～190 (1700～1900)	210～240 (2100～2400)	250～270 (2500～2800)	310～340 (3200～3500)
M20	150～170 (1500～1700)	200～220 (2000～2200)	240～270 (2400～2800)	310～350 (3200～3600)	440～480 (4500～4900)
M22	180～210 (1800～2100)	320～350 (3300～3600)	420～450 (4300～4600)	540～580 (5500～5900)	610～650 (6200～6600)
M24	240～260 (2400～2700)	440～470 (4500～4800)	540～570 (5500～5800)	710～750 (7200～7600)	780～820 (8000～8400)

■ 組付要領

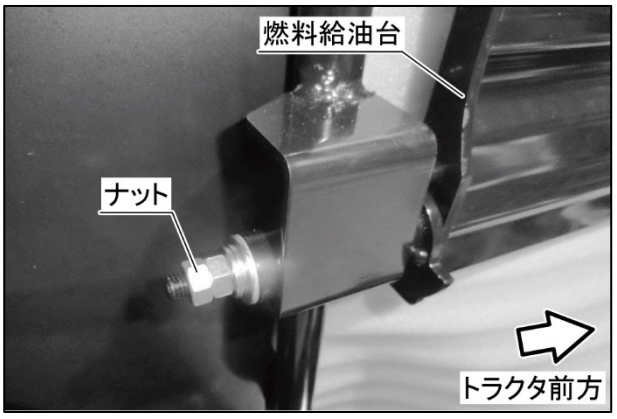
① 燃料給油台の取りはずし

（1） トラクタ右側面、燃料給油台を取りはずします。

補　足

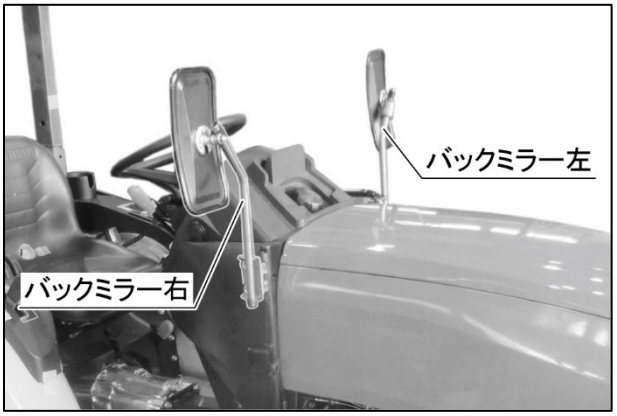
取りはずした燃料給油台は後ほど再組付けいたします。
取りはずしたナット等は使用しません。





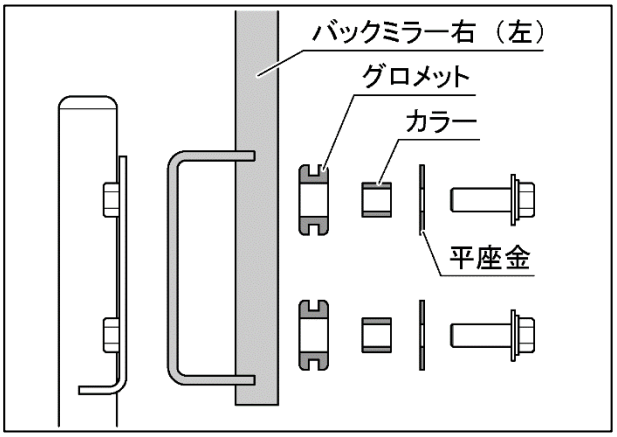
② バックミラーの移動

（1） トラクタ右（左）側面にあるバックミラー右（左）を取りはずします。



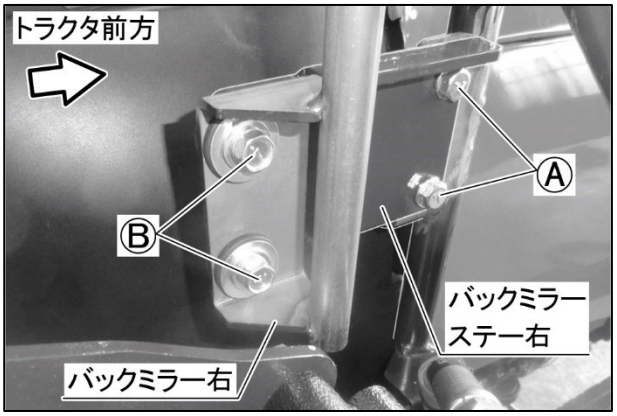
補　足

取りはずしたバックミラー，グロメット，カラー，平座金は後ほど再組付け時に使用します。



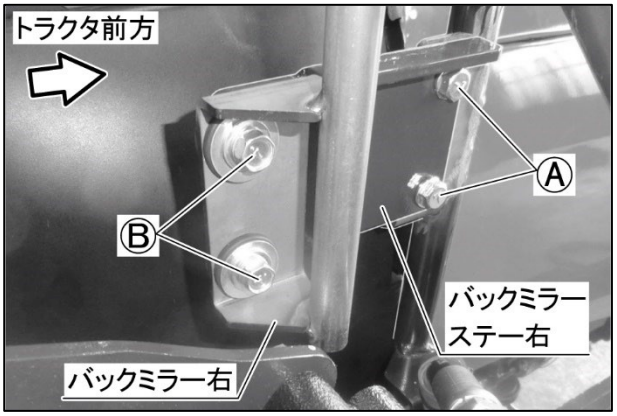
（2） 同箇所にバックミラーステー右（左）を組付けます。

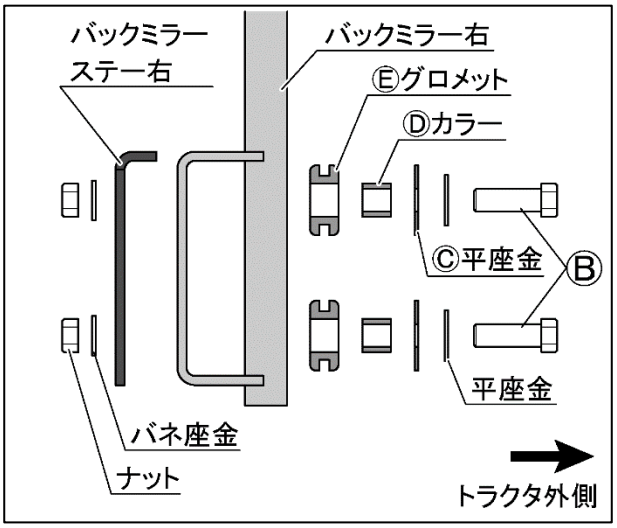
Ⓐ 使用ボルト：M8×1.25×20　　左右各２本
　バネ座金　：M8 用2 号　　左右各２個



（３） このステーに（１）で取りはずしたバックミラー右（左）を組付けます。
この時、Ⓔグロメット，Ⓓカラー，Ⓒ平座金は（１）で取りはずした部品を使用してください。

Ⓑ 使用ボルト	：M8×1.25×30	左右各２本
平座金	：M8 用	左右各２個
Ⓒ 平座金	：**トラクタ部品を使用**	左右各２個
Ⓓ カラー	：**トラクタ部品を使用**	左右各２個
Ⓔ グロメット	：**トラクタ部品を使用**	左右各２個
バネ座金	：M8 用2 号	左右各２個
ナット	：M8×1.25	左右各２個

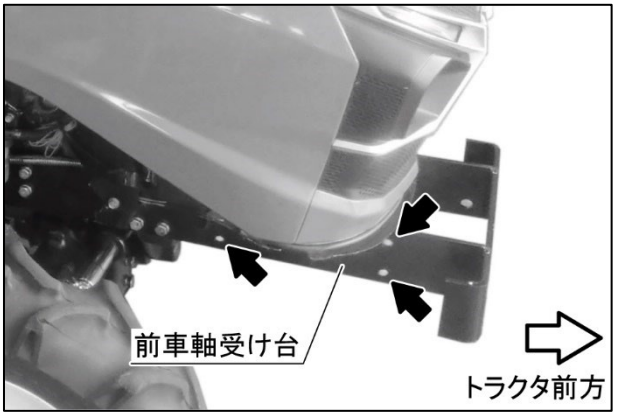


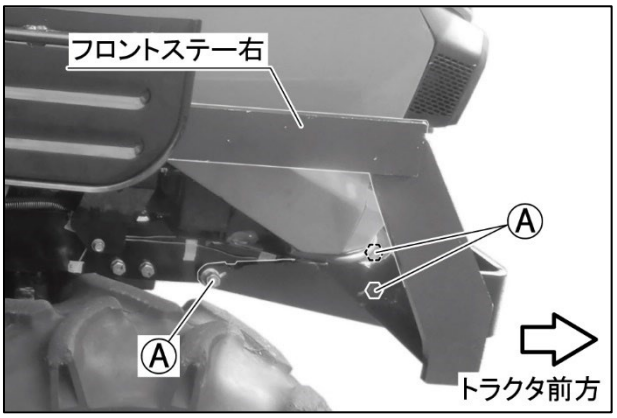


③ フロントステーの組付

（1） トラクタ 前車軸受け台 右側面にフロントステー右を組付けます。

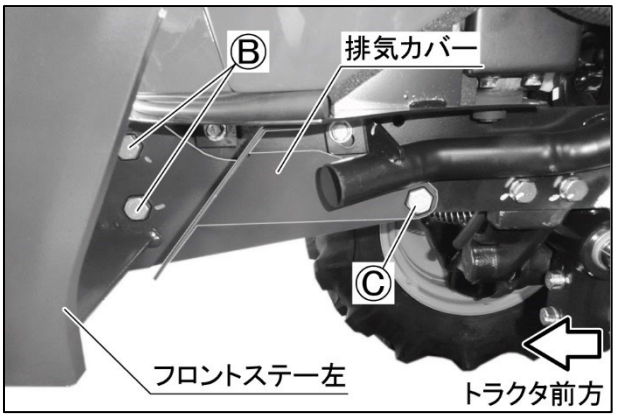
Ⓐ 使用ボルト：M12×1.75×40(10.9)　３本
バネ座金　：M12 用2 号　３個
平座金　：M12 用(10)　３個
ナット　：M12×1.75(10)　３個





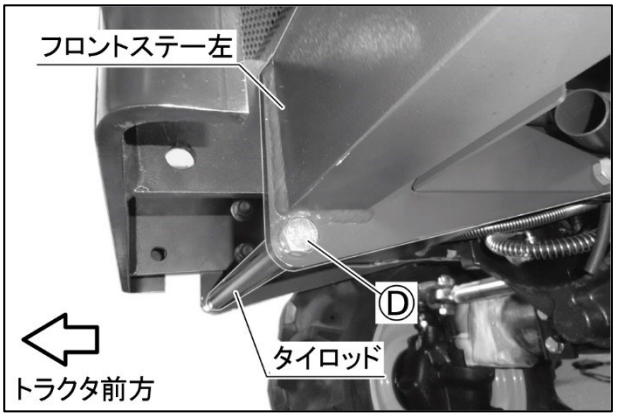
（2） トラクタ 前車軸受け台 左側面にフロントステー左を組付けます。
この時、Ⓒ部に排気カバーを共締めします。

Ⓑ 使用ボルト：M12×1.75×40(10.9)　３本
バネ座金　：M12 用2 号　３個
平座金　：M12 用(10)　３個
ナット　：M12×1.75(10)　３個



（3） フロントステー右（左）をタイロッド（258 ㎜）でつなぎます。

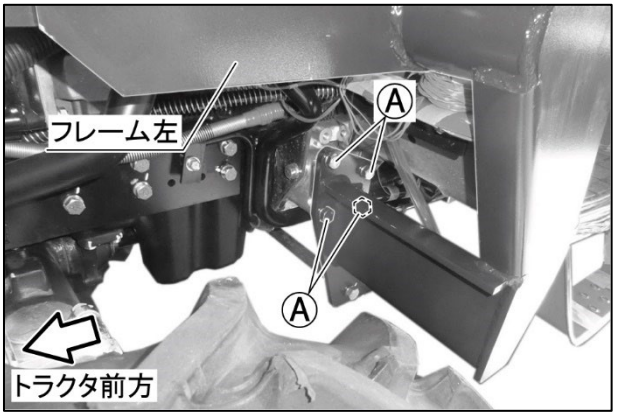
Ⓓ 使用ボルト：M12×1.75×30　左右各１本
バネ座金　：M12 用2 号　左右各１個



④ フレームの組付

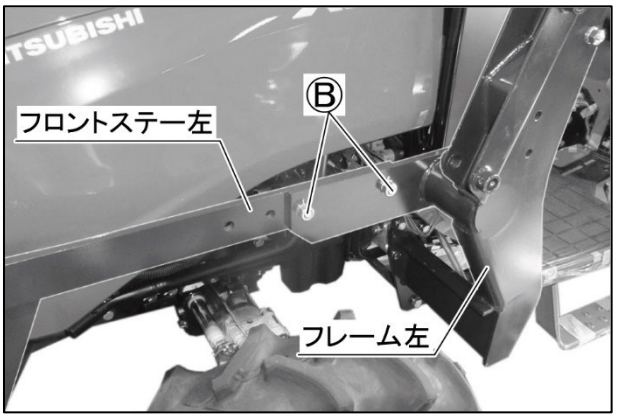
（1） トラクタ クラッチケース左（右）側面にフレーム左（右）を組付けます。

Ⓐ 使用ボルト：M12×1.75×35　　左右各４本
　バネ座金　：M12 用2 号　　左右各４個



（2） フロントステー左（右）後部にフレーム左（右）を組付けます。
この時、フロントステーの前から３番目の位置となるボルト穴を使用してください。

Ⓑ 使用ボルト：M14×2×40　　左右各２本
　バネ座金　：M14 用2 号　　左右各２個
　ナット　　：M14×2　　左右各２個



補　足

フレームがフロントステーに対し外付けとなります。

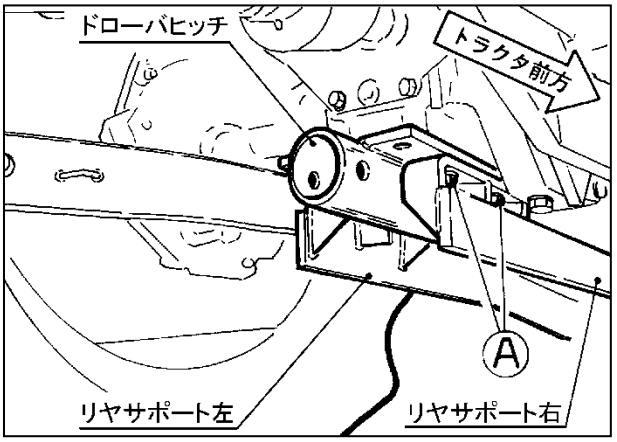
⑤ リヤサポートの組付

A ドローバヒッチが付いている場合

（1） トラクタ後部、PTO軸下側にあるドローバヒッチの取付ボルト（４本）を取りはずします。

（2） 同箇所にドローバヒッチとリヤサポート左右後部を共締めします。

Ⓐ ボルト　：M12×1.75×50（10.9）　左右各２本
バネ座金：M12用2号　　左右各２個
平座金　：M12用（10）　　左右各２個

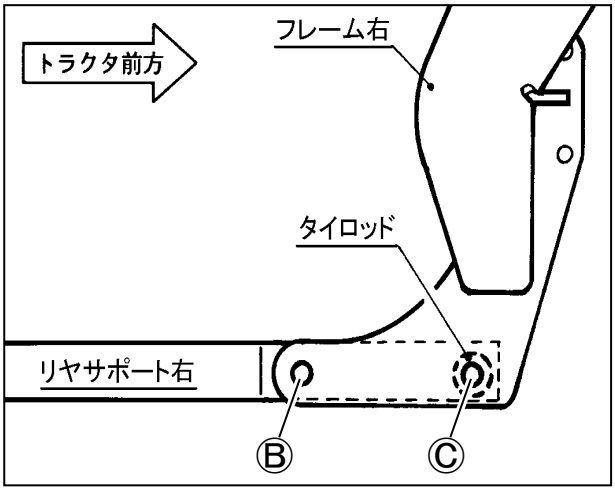


補　足

- トラクタケース底面とリヤサポート左右でドローバヒッチをはさみ込むように組付けてください。
- リヤサポートには左右があります。間違えないよう組付けてください。
  （リヤサポートの平板部がトラクタの外側になるように組付けます）

（３） リヤサポート左（右）前部をフレーム左（右）下部に組付けます。

Ⓑ ボルト　：M14×2.0×40　　左右各１本
バネ座金：M14 用2 号　　左右各１個
ナット　：M14×2.0　　左右各１個



補　足

- ボルトⒷは**内側から**差し込んでください。
- リヤサポートがフレームに対して内付けとなります。

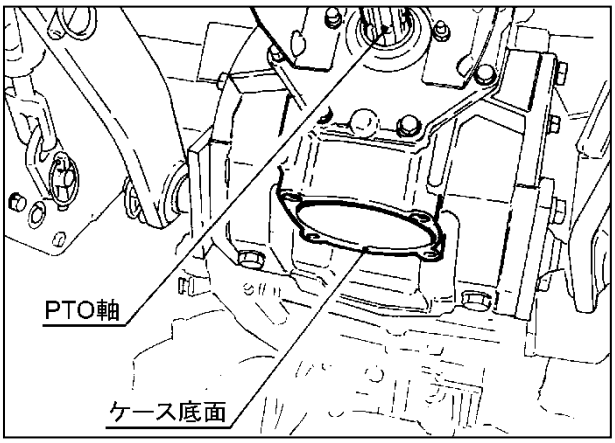
（４） リヤサポート左（右）前部とフレーム左（右）下部をタイロッド（346 ㎜）でつなぎます。

Ⓒ ボルト　：M14×2.0×50　　左右各１本
バネ座金：M14 用2 号　　左右各１個

B ドローバヒッチが付いていない場合

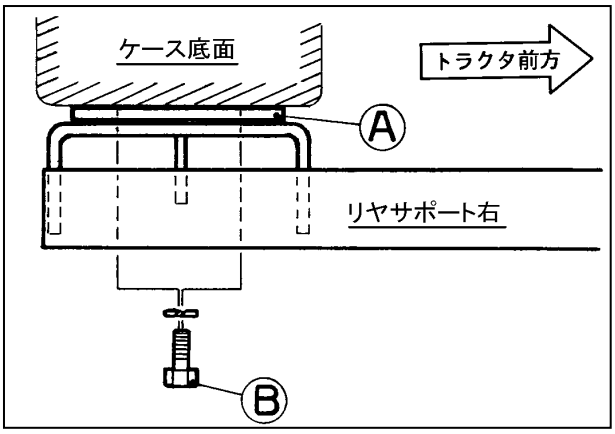
（1） トラクタ後部、PTO軸下側のケース底面にリヤサポート左（右）を組付けます。

Ⓐ スペーサ：32×125×t9　　左右各１枚
Ⓑ ボルト　：M12×1.75×50（10.9）　左右各２本
バネ座金：M12用2号　　左右各２個
平座金　：M12用（10）　　左右各２個



補　足

- トラクタケース底面とリヤサポート左右でスペーサをはさみ込むように組付けてください。
- リヤサポートには左右があります。間違えないよう組付けてください。
（リヤサポートの平板部がトラクタの外側になるように組付けます）

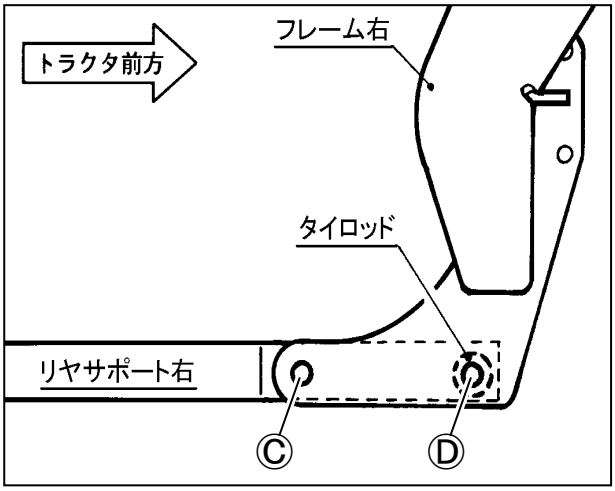


（２） リヤサポート左（右）前部をフレーム左（右）下部に組付けます。

Ⓒ ボルト　：M14×2.0×40　　左右各１本
バネ座金：M14 用２号　　左右各１個
ナット　：M14×2.0　　左右各１個

補　足

●ボルトⒷは**内側から**差し込んでください。
● リヤサポートがフレームに対して内付けとなります。



（３） リヤサポート左（右）前部とフレーム左（右）下部をタイロッド（346 ㎜）でつなぎます。

Ⓓ 使用ボルト：M14×2.0×50　　左右各１本
バネ座金　：M14 用２号　　左右各１個

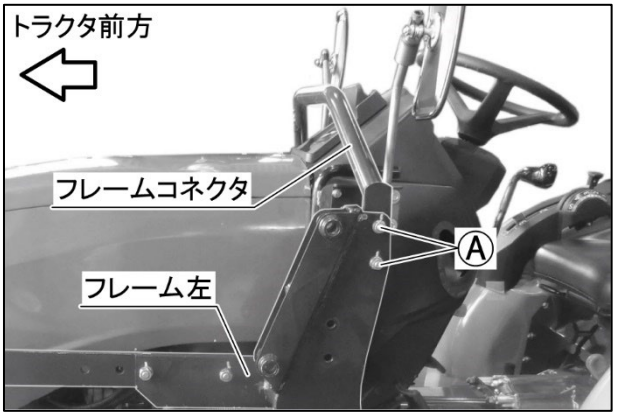
⑥ フレームコネクタの組付

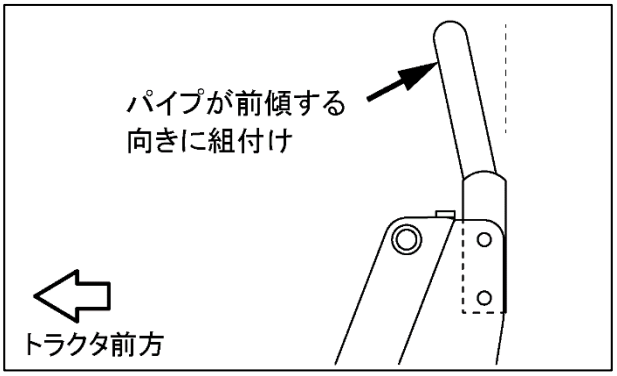
（1） フレーム左（右）をフレームコネクタでつなぎます。
この時、パイプの傾きが前方向になるよう組付けてください。

Ⓐ 使用ボルト：M12×1.75×35　　左右各２本
バネ座金　：M12 用2 号　　左右各２個
ナット　　：M12×1.75　　左右各２本

補　足

フレームに対し、フレームコネクタを内側に組付けてください。

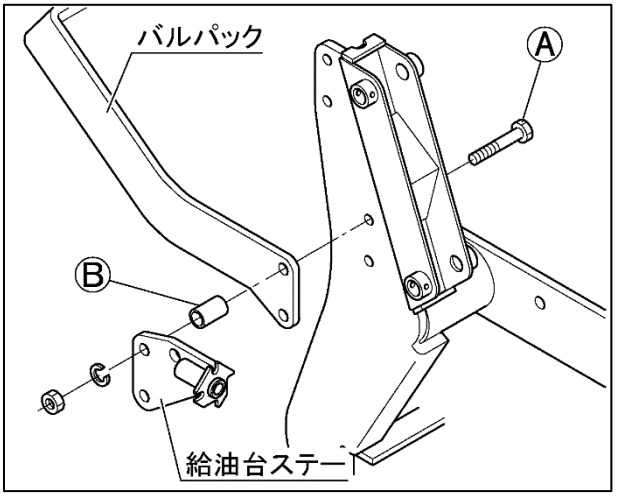




⑦ バルパックの組付

（1） フレーム右にバルパック，給油台ステーを組付けます。
内側からフレーム右⇒バルパック⇒カラー⇒給油台ステーの順に組付けてください。

Ⓐ ボルト　：M12×1.75×75　２本
バネ座金：M12用2号　２個
ナット　：M12×1.75　２個
Ⓑ カラー　：35㎜　２個

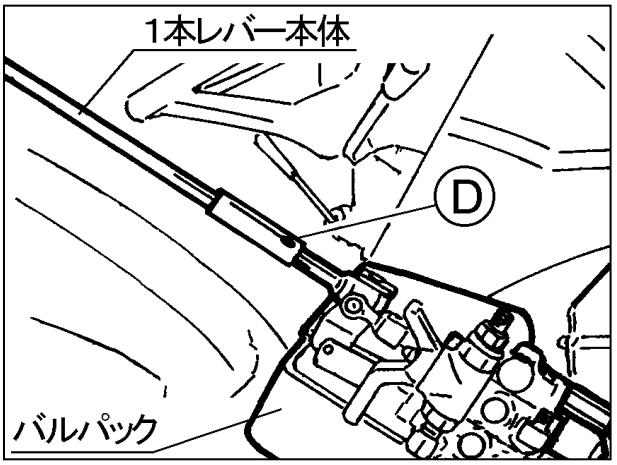


（2） バルパックのレバー元部に１本レバー本体を組付けます。

Ⓓ ピン　：φ5×24　１個
スナップピン：φ6用　１個

補　足

トラクタ右側から乗降する等の時、１本レバー本体を取りはずしてください。
この時、はずしたピン類を無くさないようにしてください。



⑧ 油圧取出部・戻し部の組付

取扱注意

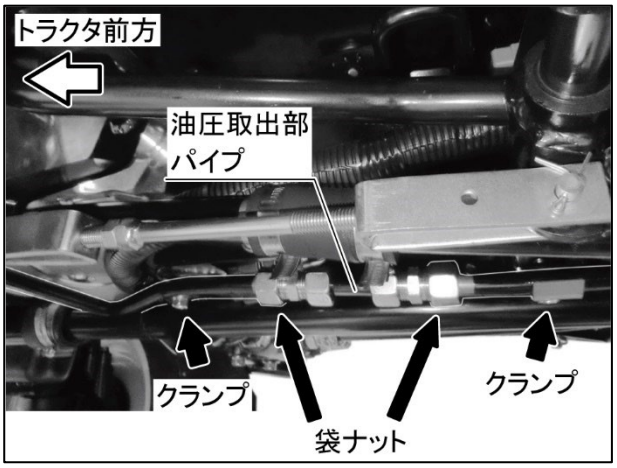
- 油圧関係の組付けは、必ずエンジンを止めて駐車ブレーキをかけ、ロアーリンク（またはロータリ）を最下位まで下げてから作業を始めてください。
- ホースと継手をつなぐ場合は、同色のラベルのついたものどうしをつないでください。
- ホース先端金具（ユニオン部）は、全長 175㎜ 程度のスパナ・モンキーを使用して締付けてください。締め過ぎますとネジがつぶれ油もれの原因となります。
  締付トルクは下表を参照してください。

ネジサイズ	1/8	1/4	3/8	1/2	3/4	1/1
推奨トルク （上段：N・m）	9.8	24.5	49.0	58.8	118	137
（下段：kgf・cm）	(100)	(250)	(500)	(600)	(1200)	(1400)

（1） トラクタ 左側面下部 油圧取出部パイプの袋ナットをゆるめます。（２箇所）

（2） トラクタ 油圧取出部パイプのクランプをゆるめます。（２箇所）

（3） 油圧取出部パイプを取りはずします。



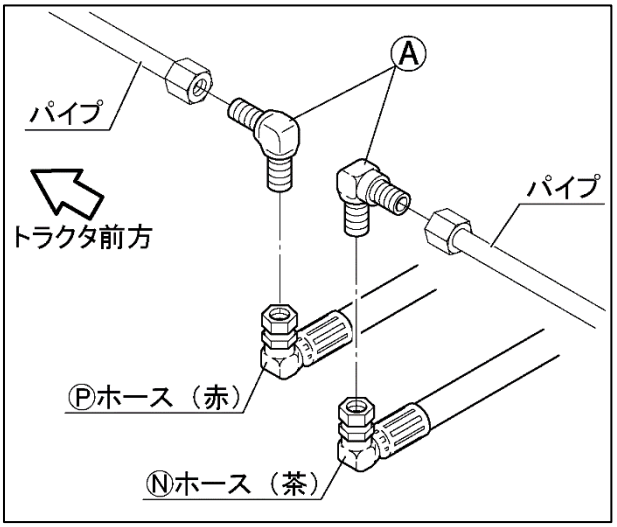
補　足

- 取りはずしたパイプは使用しません。
- この時、油がもれます。
  下に油受けを置いて作業してください。

（4）（2）で緩めたパイプのクランプを元通り増し締めします。（２箇所）

（５） 油圧取出部パイプ先端にパイプホースエルボを組付けます。
この時、ホース側ネジが下向きになるよう組付けてください。
トラクタ前方のパイプが**Ⓟポート**、後方のパイプが**Ⓝポート**になります。

Ⓐ パイプホースエルボ：M18×1.5×G3/8　２個

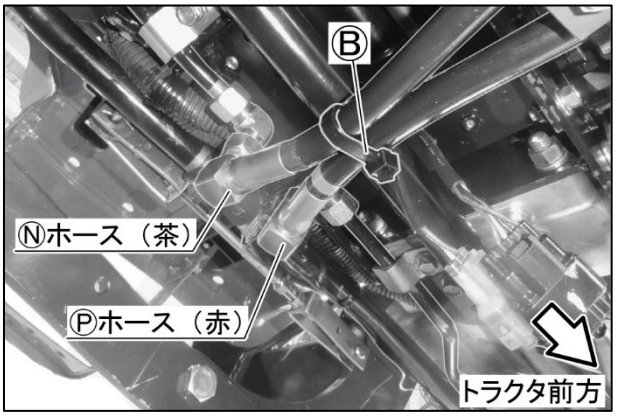


（６） この継手に**ⓅⓃホース**を組付けます。
ホースは 90° ブロック側をつないでください。
ホースはリヤサポート右の上を通し、バルパックまで取りまわします。

Ⓟホース：φ9×1110(赤ラベル)　１本
Ⓝホース：φ9×1340(茶ラベル)　１本

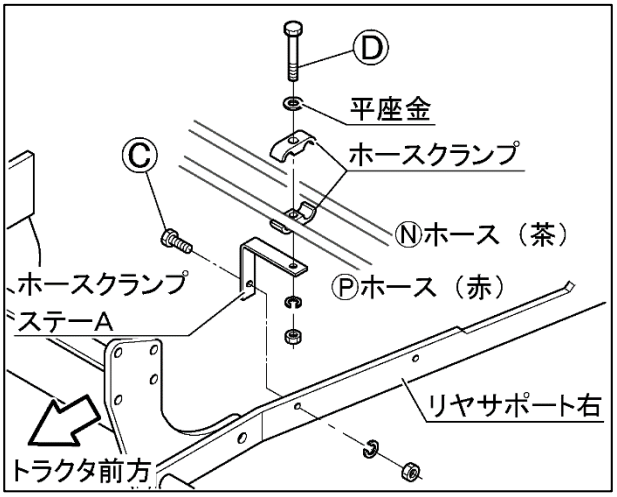
（７） **ⓅⓃホース**を樹脂バンドで束ねます。
樹脂バンドがホースを引っ張らないよう、ホースの組付け角度を調整してください。

Ⓑ 樹脂バンド：365 ㎜　１本



（8） リヤサポート右にホースクランプステーAを組付けます。
ホースクランプステーAは内側に向けて組付けてください。

Ⓒ ボルト　：M8×1.25×30　1本
バネ座金：M8用2号　1個
ナット　：M8×1.25　1個



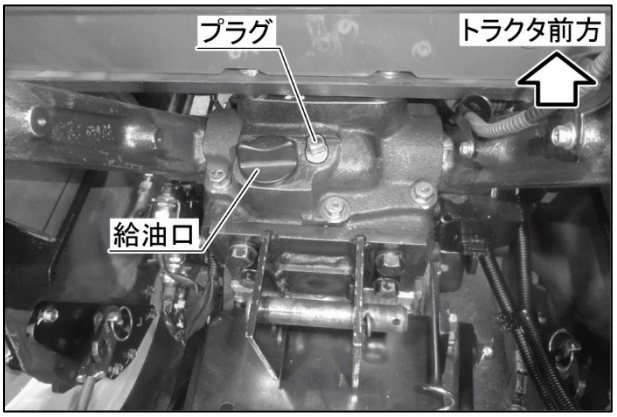
（9） ⓅⓃ**ホース**をホースクランプステーAにホースクランプで固定します。

Ⓓ 使用ボルト　：M8×1.25×50　1本
平座金　：M8用　1個
バネ座金　：M8用2号　1個
ナット　：M8×1.25　1個
ホースクランプ：φ9×φ9　2個

(10) トラクタ後部、給油口横のプラグを取りはずします。

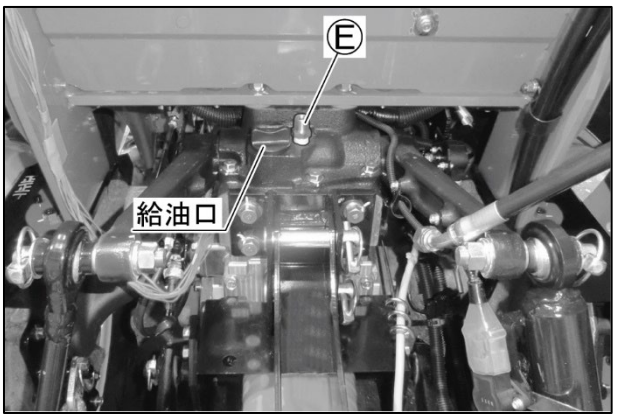
補　足

取りはずしたプラグは使用しません。



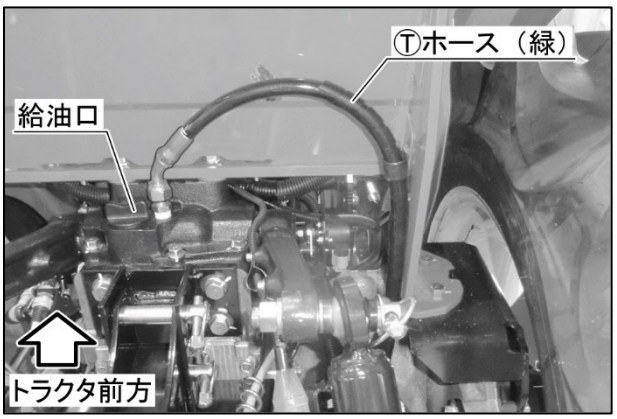
(11) 同箇所にホースニップルを組付けます。

Ⓔ ホースニップル：G3/8×R3/8　1個



(12) この継手に**Ⓣホース**を組付けます。
ホースは 45° ベンド側継手をつないでください。

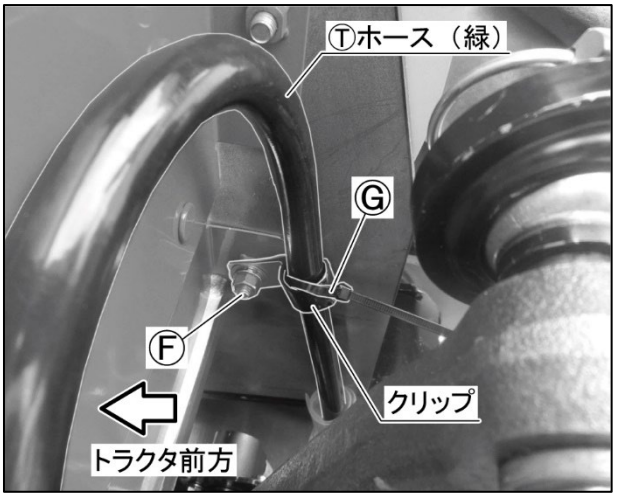
Ⓣホース：φ9×2485(緑ラベル)　　1本



(13) トラクタ リヤフェンダーカバーの取付けボルトを取りはずします。（1箇所）
ボルトは下側のボルトを使用してください。

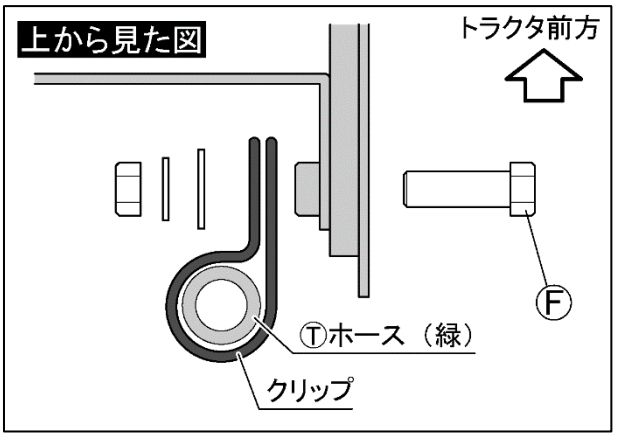
(14) 同箇所に右後輪側がらボルトを挿し込みます。

Ⓕ 使用ボルト：M8×1.25×35　　1本



(15) (14)で組付けたボルトの先端にクリップで**Ⓣホース**を固定します。

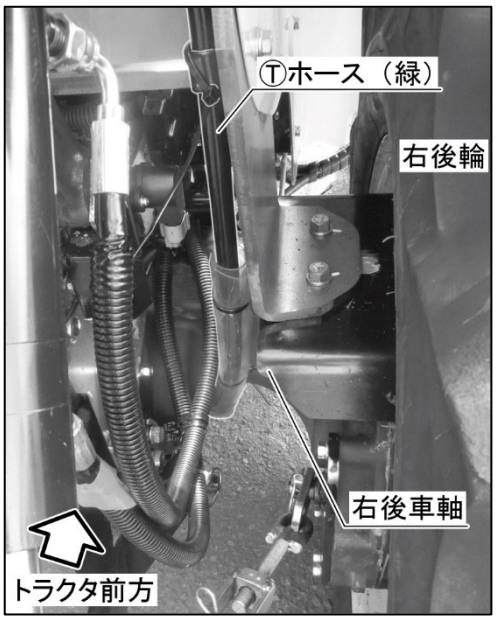
クリップ：WRC18	1個
バネ座金：M8用2号	1個
平座金　：M8用	1個
ナット　：M8×1.25	1個

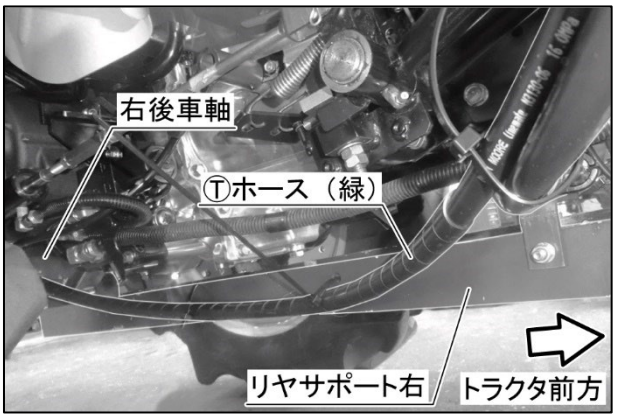


(16) クリップで固定した**Ⓣホース**がずれないよう樹脂バンドで固定します。
この時、クリップとホースを一緒に固定してください。

Ⓖ 樹脂バンド：185 ㎜　　1本

(16) **Ⓣホース**を右側後車軸の下からリヤサポート右に沿わせてバルパック付近まで取りまわします。

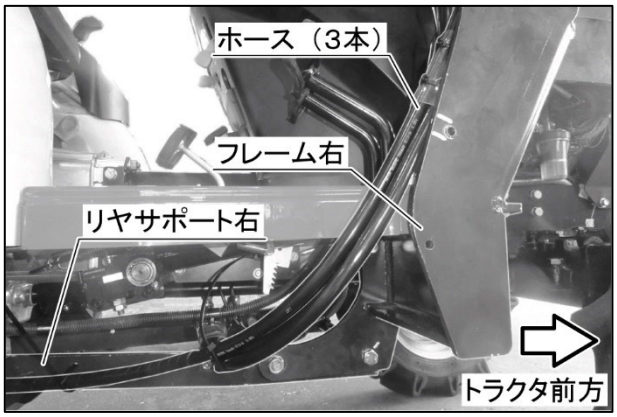


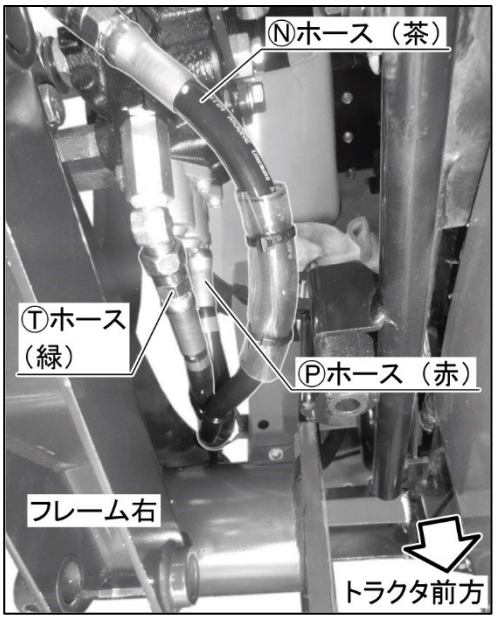


(17) **ⓅⓃⓉホース**（３本）をフレーム右の背面に沿わせ、それぞれバルパックの各ポートにつなぎます。

補　足

同色のカラーリングまたはシールの付いたものどうしをつないでください。

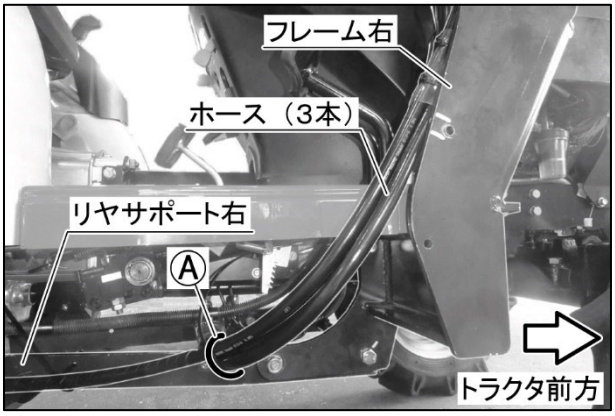




⑨ ホースの保護

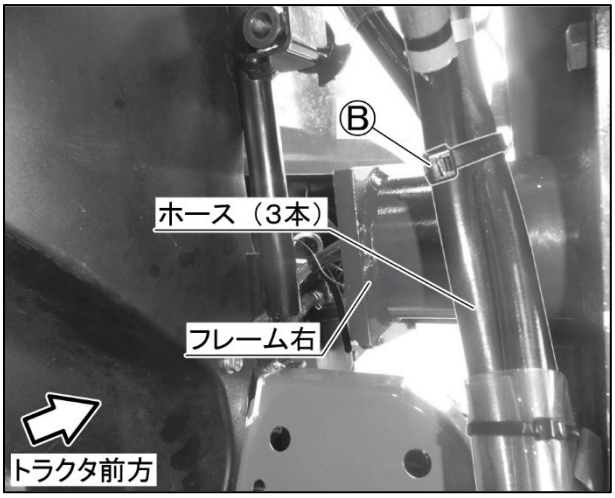
（1） リヤサポート右側面付近で**ⓅⓃⓉホース**（３本）を束ねます。

Ⓐ 樹脂バンド：365 ㎜　　１本



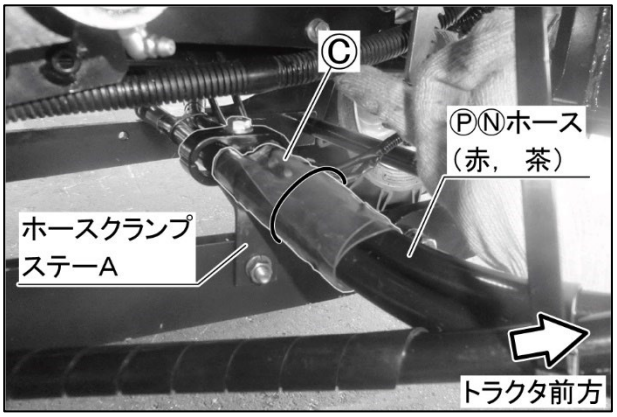
（2） フレーム右中ほどで**ⓅⓃⓉホース**（３本）を束ねます。

Ⓑ 樹脂バンド：365 ㎜　　１本



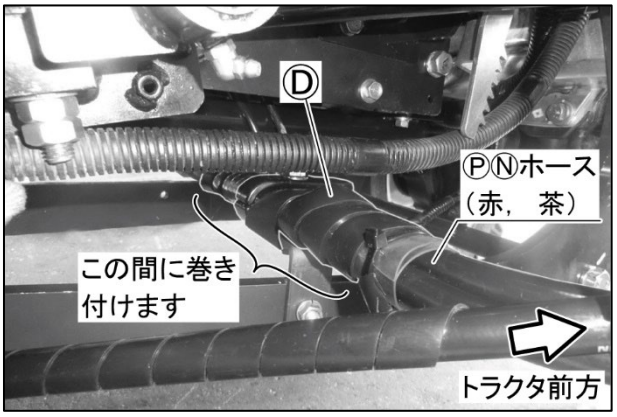
（3） トラクタ下、**ⓅⓃホース**（２本）がホースクランプステーＡに接触しないよう、ホースカバーを巻き付けます。

Ⓒ ホースカバー：100×150　　１枚
　樹脂バンド　：185 ㎜　　１本



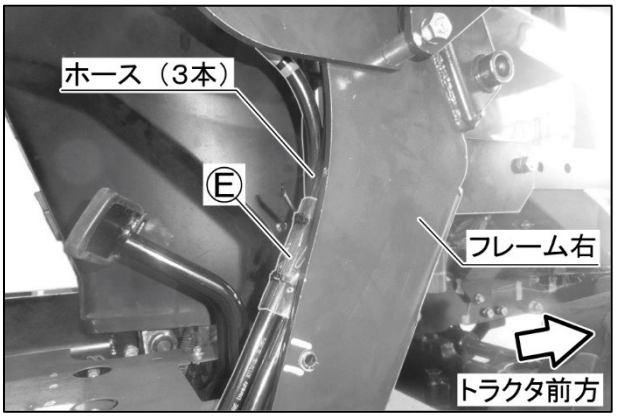
（4）（3）で巻き付けたホースカバーの上にスパイラルチューブを巻きます。

Ⓓ スパイラルチューブ：500 ㎜　　1 個



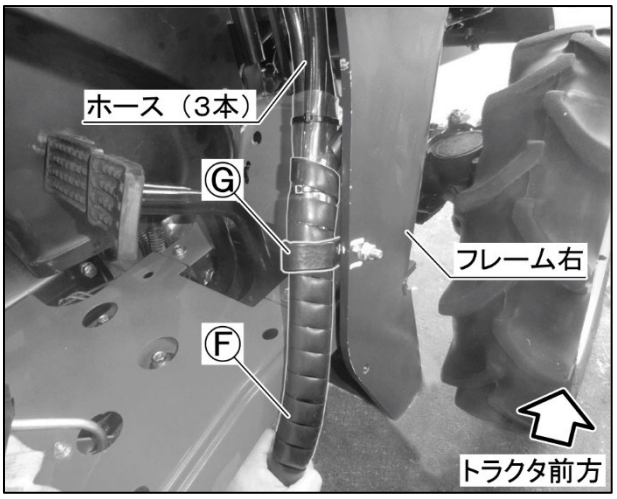
（5） フレーム右とホースが近い付近で、**ⓅⓃホース**（2 本）にホースカバーを巻き付けます。

Ⓔ ホースカバー：100×150　　1 枚
樹脂バンド　：185 ㎜　　2 本



（6）（5）で巻き付けたホースカバーの上からスパイラルチューブを巻き付けます。

Ⓕ スパイラルチューブ：1200 ㎜　　1 個

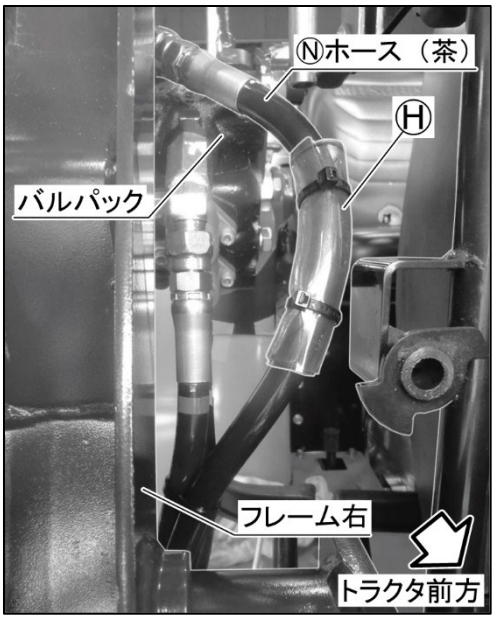


（7） **ⓅⓃⓉホース**（3 本）をフレーム右にホースクランプで固定します。

Ⓖ 使用ボルト	：M8×1.25×25	1 本
バネ座金	：M8 用 2 号	1 個
平座金	：M8 用	1 個
ナット	：M8×1.25	1 個
ホースクランプ	：044	1 個

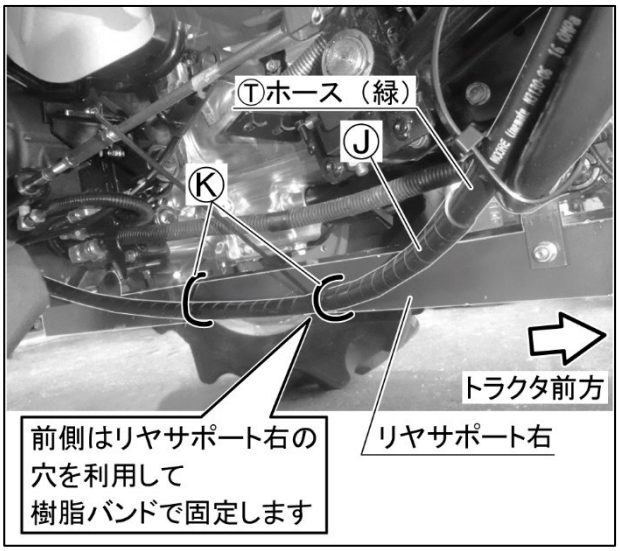
（8） バルパック付近、**Ⓝホース**（茶）とトラクタのステーが直接接触しないよう、ホースカバーを巻き付け保護します。

Ⓗ ホースカバー：100×150　　1枚
　樹脂バンド　：185 ㎜　　2本



（9） リヤサポート右側面、**Ⓣホース**（緑）が直接リヤサポートと接触しないよう、スパイラルチューブを巻き付け保護します。

Ⓙ スパイラルチューブ：1000 ㎜　　1個

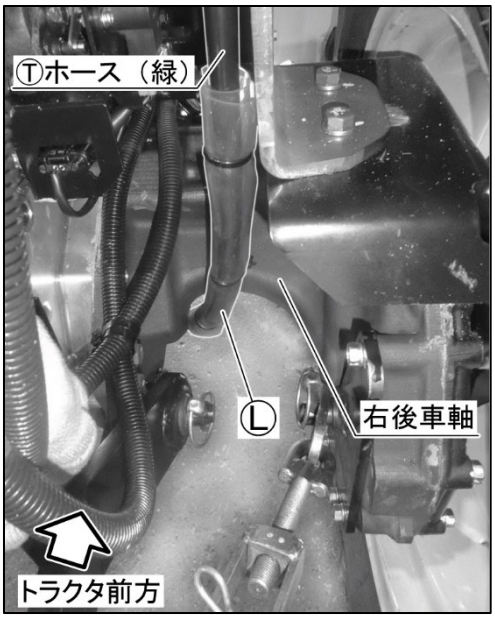


(10) **Ⓣホース**（緑）が垂れ下がらないよう、リヤサポート右に樹脂バンドで固定します。
前側はリヤサポート右の穴を通して固定してください。

Ⓚ 樹脂バンド：365 ㎜　　2本

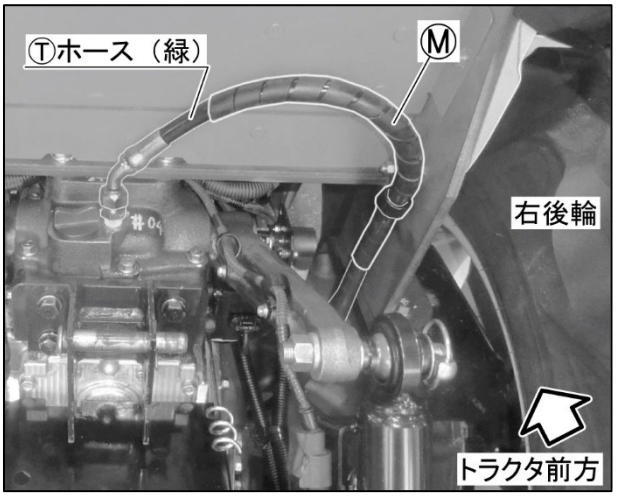
(11) 右後車軸付近、Ⓣ**ホース**（緑）が直接接触しないよう、ホースカバーを巻き付け保護します。

Ⓛ ホースカバー：330×200　　1枚
　樹脂バンド　：185 ㎜　　3本



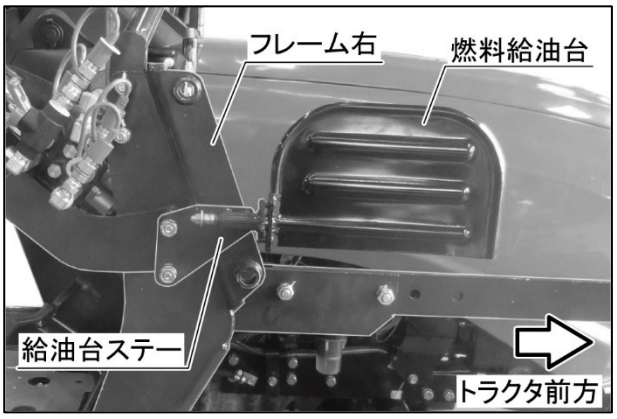
(12) トラクタ背面、Ⓣ**ホース**（緑）がキャビンに直接接触しないよう、スパイラルチューブを巻き、保護します。

Ⓜ スパイラルチューブ：500 ㎜　　1個



⑩ 燃料給油台の組付

（1） **「⑦バルパックの組付」**で組付けた燃料給油台ステーに**「①燃料給油台の取りはずし」**で取りはずした燃料給油台を組付けます。



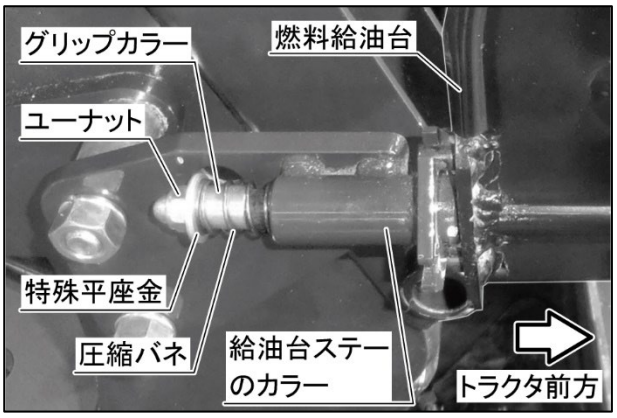
a．燃料給油台のシャフトを給油台ステーのカラーに挿入します。

b．グリップカラーを燃料給油台のシャフトに組付けます。

c．圧縮バネを組付けます。

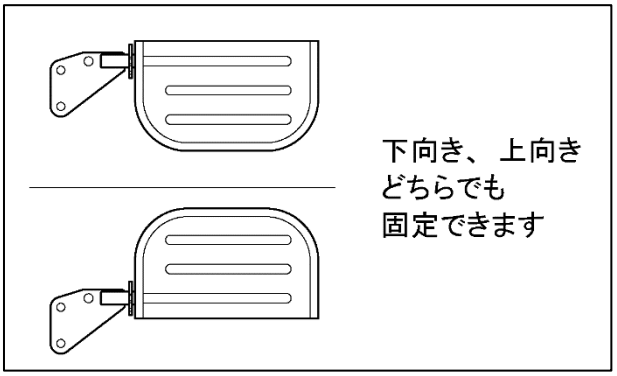
d．特殊平座金を給油台のシャフトに組付けます。

e．圧縮バネを押し込みながらユーナットを組付けます。



補　足

移設した燃料給油台は下向きでも上向きでも固定できます。



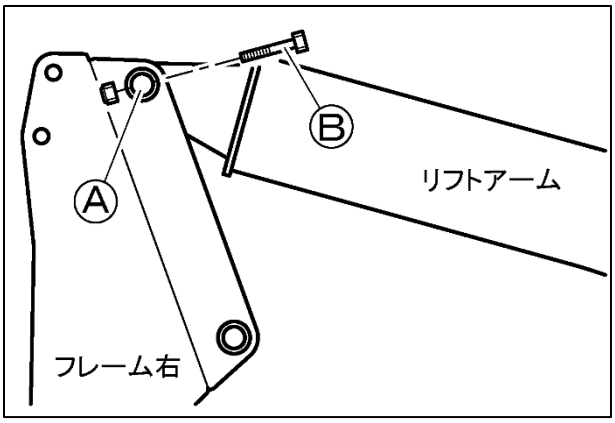
⑪ リフトアーム部の組付

取扱注意

リフトアーム部の組付けは、リフトアーム元部をホイストやチェーンブロックなどで吊り上げて行なってください。
人力による持ち上げはしないでください。

（1） リフトアーム元部をフレーム左右上部に組付けます。

Ⓐ ピン　　：φ20×96(全長)　　左右各１本
Ⓑ 使用ボルト：M6×1.0×40　　左右各１本
ユーナット：M6×1.0　　左右各１個

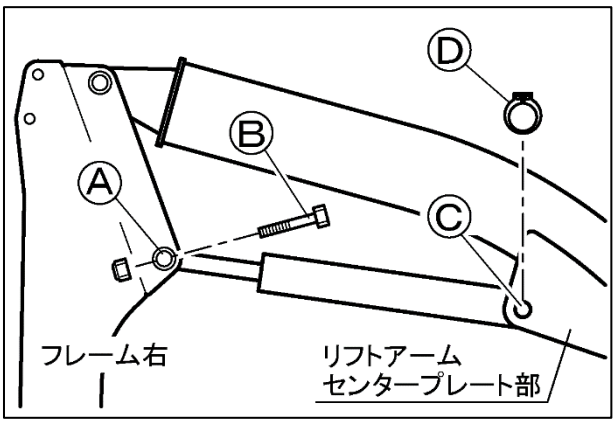


補　足

ピンⒶは片側に穴があいています。

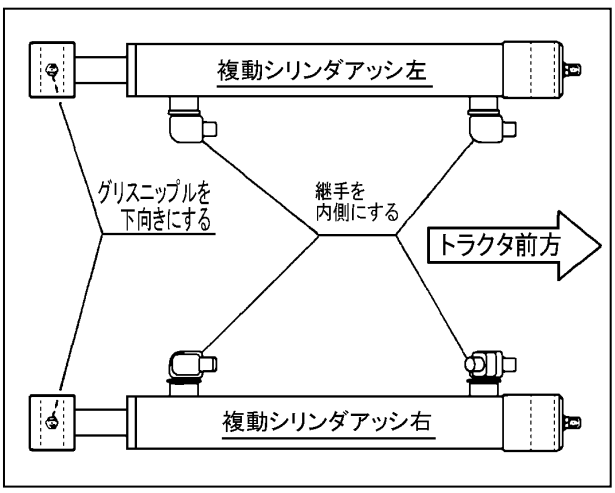
（2） リフトアームセンタープレート部左（右）とフレーム左（右）を複動シリンダアッシ左（右）でつなぎます。

Ⓐ ピン　　：φ20×96(全長)　　左右各１本
Ⓑ 使用ボルト：M6×1.0×40　　左右各１本
ユーナット：M6×1.0　　左右各１個
Ⓒ ピン　　：φ20×79(全長)　　左右各１本
Ⓓ C形止め輪：φ20用　　左右各２本



取扱注意

- シリンダには左右がありますので間違えないように組付けてください。
- シリンダはポート（継手）を**内側**にして組付けてください。
- シリンダロッドエンドに組付けてあるグリスニップルが**下向き**になるように組付けてください。

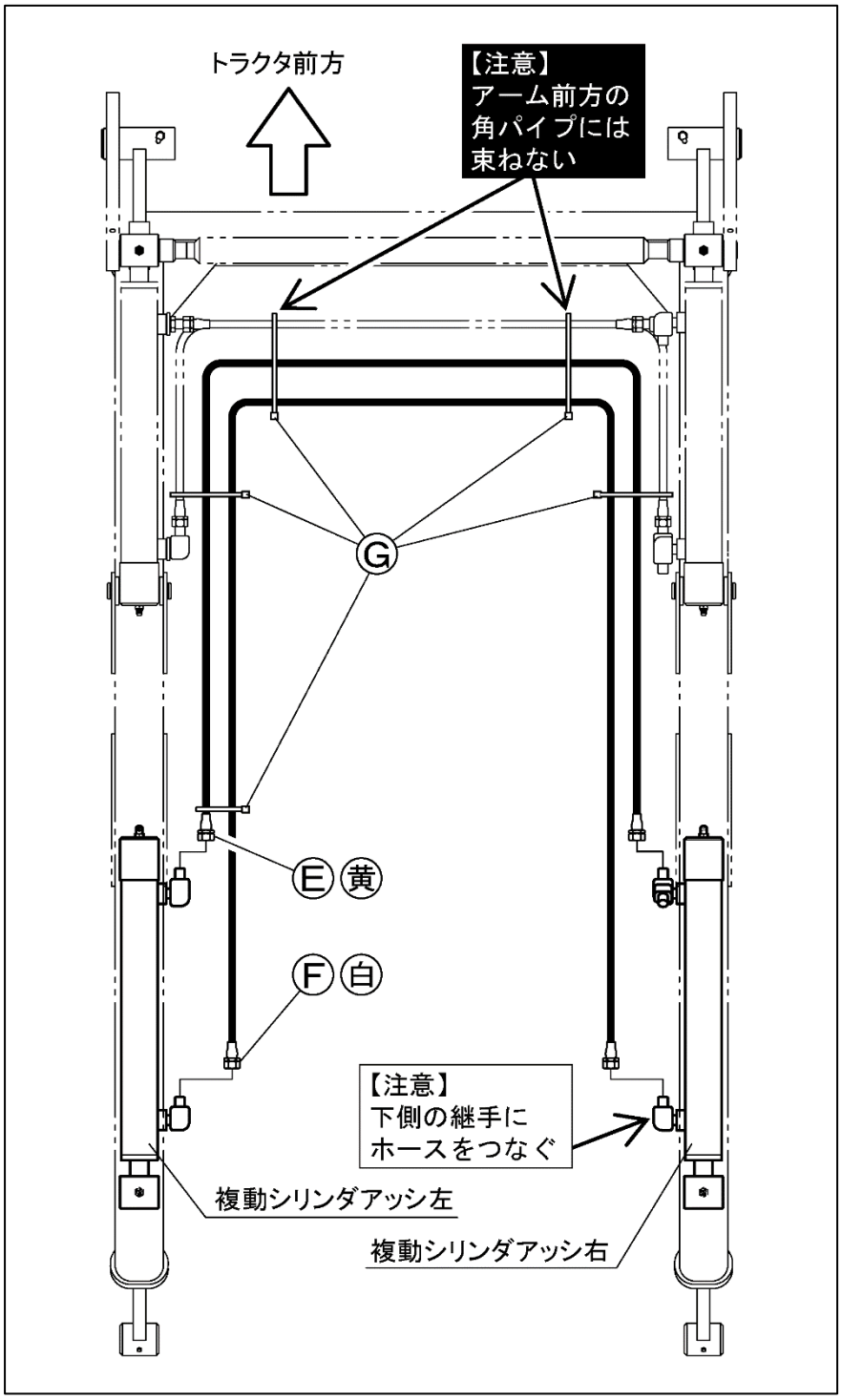


（3） 複動シリンダアッシ左右をホース（２本）でつなぎます。

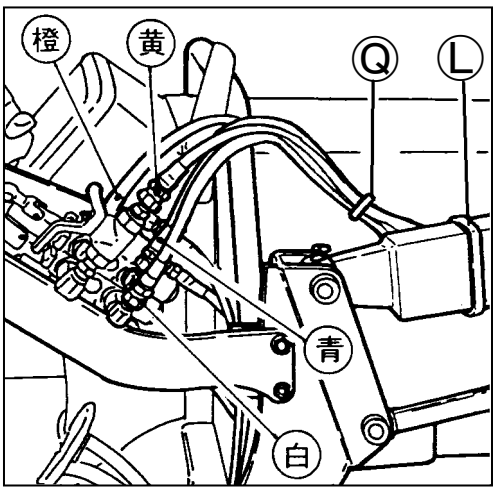
Ⓔ 使用ホース：5×2125 ㎜(黄ラベル)　　１本
Ⓕ 使用ホース：5×2750 ㎜(白ラベル)　　１本

（4） ホースを樹脂バンドで束ねます。

Ⓖ 樹脂バンド：185 ㎜　　５本



（5） リフトアーム右側にある複動シリンダアッシ（２本）の各継手にホース（４本）をつなぎます。

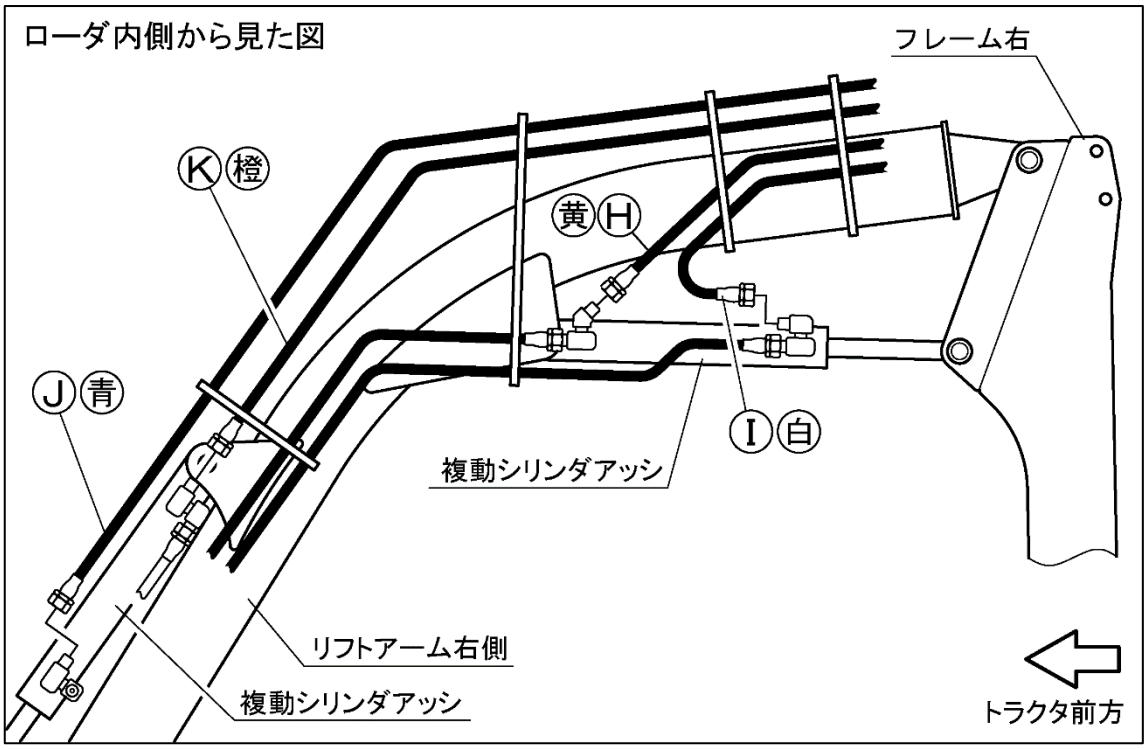


Ⓗ 使用ホース：5×875 ㎜(黄ラベル)　　１本
Ⓘ 使用ホース：5×1300 ㎜(白ラベル)　　１本
Ⓙ 使用ホース：5×1575 ㎜(青ラベル)　　１本
Ⓚ 使用ホース：5×1275 ㎜(橙ラベル)　　１本

（6） このホース（４本）をバルパックの各継手につなぎます。

補　足

同色のラベルのついたものどうしをつないでください。

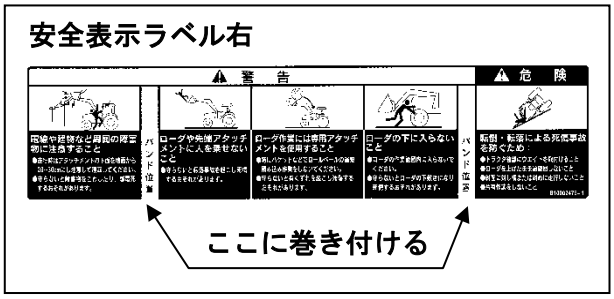


（7） このホース（４本）を樹脂バンドを使用してリフトアームに束ねます。

Ⓛ 樹脂バンド：365 ㎜　　２本

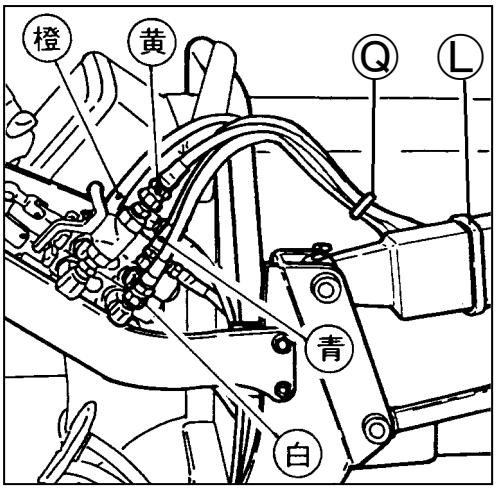
補　足

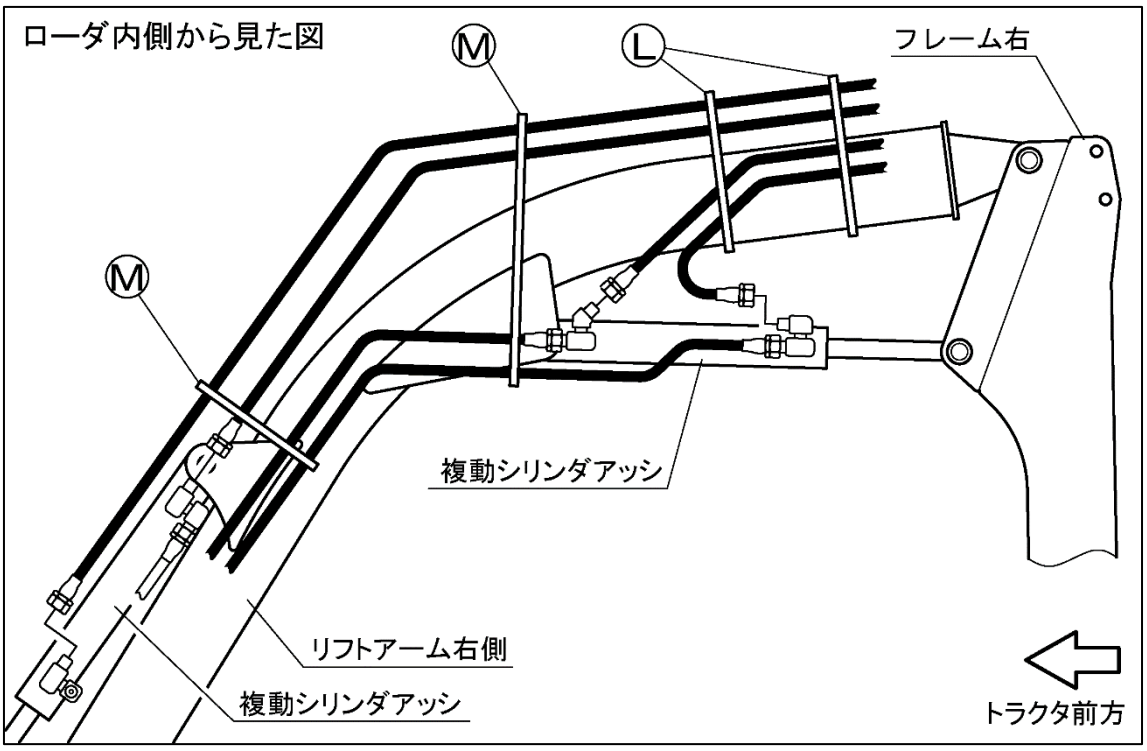
リフトアーム右外側に貼付けてある安全表示ラベルの**「バンド位置」**に巻き付けてください。



（8） ホースⒿ，Ⓚと**前ページ**でつないだホースⒺ，Ⓕを束ねます。

Ⓜ 樹脂バンド：185 ㎜　　２本



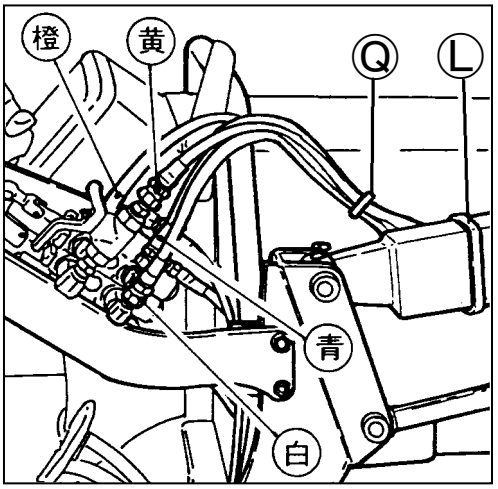


（9） バルパックにつないだホース（４本）を樹脂バンドで束ねます。

Ⓠ 樹脂バンド：185 ㎜　　１本

補　足

- リフトアーム上昇時、このホース（４本）が突っ張らないように束ねてください。
- ホースの根元部を束ねてもホースが突っ張るようでしたら樹脂バンドははずしてください。



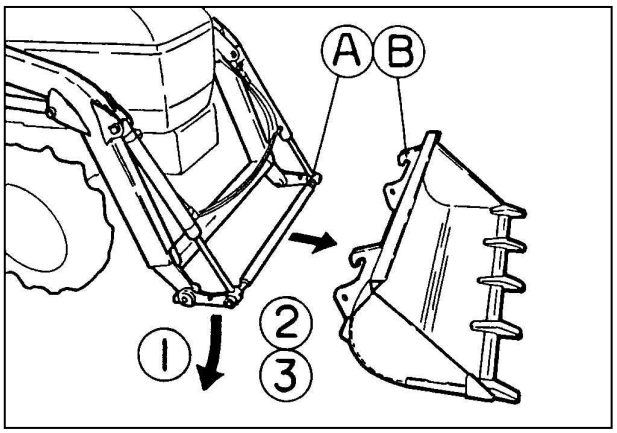
⑫ アタッチメントの組付

⚠注意

- **アタッチメントの取付けは平らな場所を選んでください。**
- **トラクタはできる限りゆっくりと前進（後進）させてください。（２km/h 以下）**
- **アタッチメントとローダの間に立たないでください。**
- **可動部分に体や手足を入れないでください。**

【守らないと】傷害事故となるおそれがあります。

① バルパックの１本レバーを**「ダンプ」**にしてスナップヒッチを前傾させます。



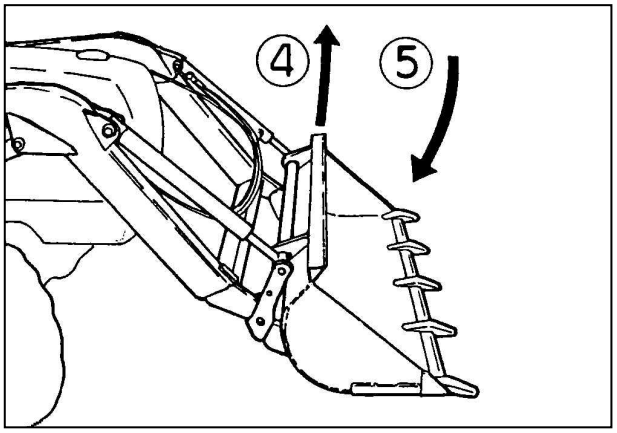
② アタッチメントの背面に向かってトラクタを前進させます。

取扱注意

この時、アタッチメントとリフトアーム（スナップヒッチ）が斜めにならないように注意してください。

③ スナップヒッチ先端ⒶをアタッチメントのフックⒷに引っ掛けます。

④ １本レバーを少し**「上昇」**にします。



⑤ １本レバーを**「スクイ」**にしてアタッチメントをすくいきった後、１本レバーを **「ダンプ」**にしてアタッチメントを少し前傾させます。

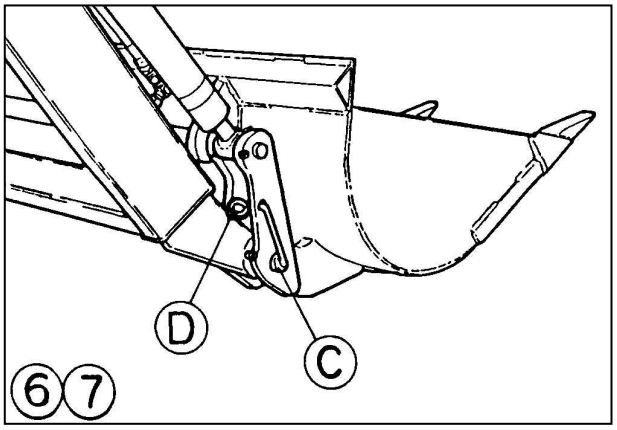
⑥ アタッチ止めピンⒸを差し込みます。

⑦ このピンⒸに抜け止め用のスナップピンⒹを差し込みます。

取扱注意

スナップピンを差し込む位置はアタッチ止めピンの取手の先端部分です。

「取りはずし」については別書**「取扱説明書」**を参照してください。

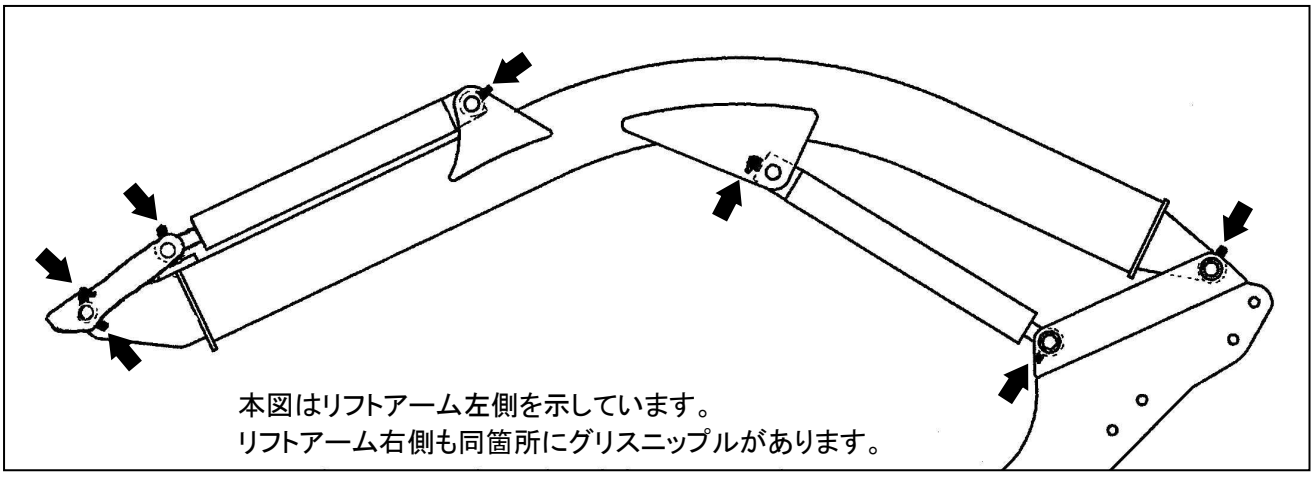


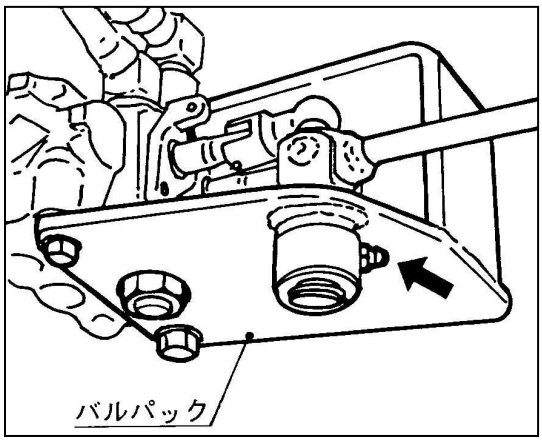
■ 組付後の確認

（1） 組付完了後、回転部にグリスアップしてください。（下図参照）

（2） 組付後のアタッチメントの取付け・取りはずしについては、別書**「取扱説明書」**を参照してください。

（3） 組付間違い・配管間違いがないか、確認してください。始動時の作動不良・作動不具合は大半が配管間違いによるものです。十分確認してください。

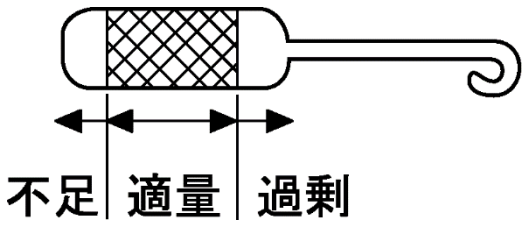




■ 始動前の点検

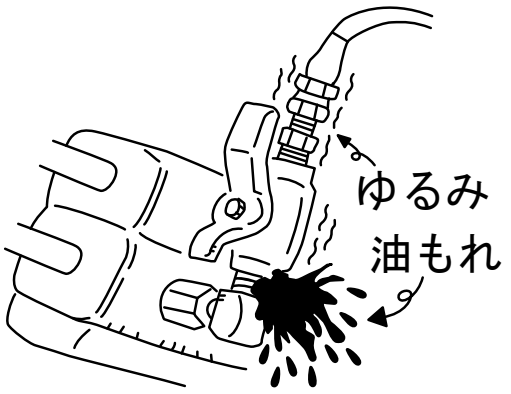
● **回転部分にグリスアップ・注油する。**
注油を怠りますと、異音が発生します。また、ピンなど早く摩耗し故障の原因となります。

● **ローダの作動油を追加する。**
トラクタに準じた作動油を追加してください。
作動油が不足しますと、ローダが動かず、トラクタのポンプも故障します。
作動油を追加した後で、ローダの作動確認を行ってください。
その後、平坦な場所でローダのアームを下げ、トラクタのロアリンクを上げた状態でトラクタ後部の**検油窓から見て、作動油が適量入っていることを確認**してください。
適正追加油量 ····· **約２．５リットル**



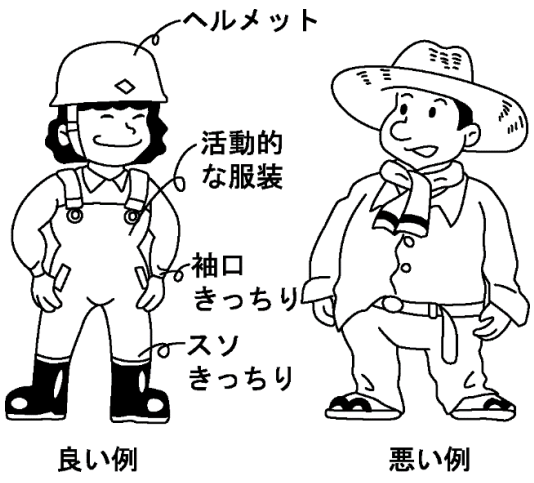
⚠警告

● **油圧配管のネジ部をしっかりと締める。**
安全のため、油圧ホースは２年毎に交換してください。
【守らないと】
継手やホースがはずれたり抜けたりし、アームが急降下して死亡事故になるおそれがあります。



⚠警告

● **作業に適した服装をする。**
はち巻き・首巻き・腰タオルは禁止です。**ヘルメット**・滑り止めのついた靴を着用し、作業に適した防護具などを付け、だぶつきの無い服装をしてください。
【守らないと】
滑って転倒したり、製品の回転部に巻き込まれて死傷するおそれがあります。



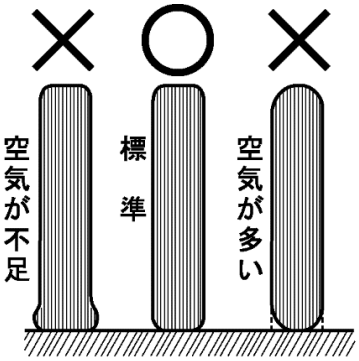
⚠警告

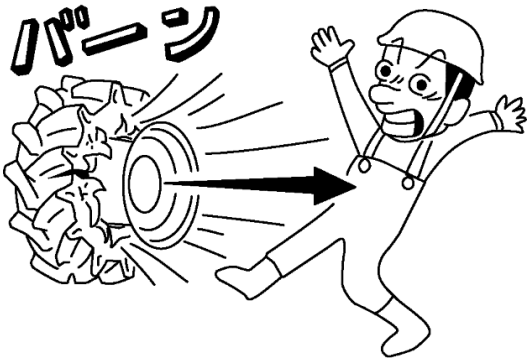
● **タイヤの空気圧は、トラクタの取扱説明書に記載している規定圧力を必ず守る。**

タイヤに傷があり、その傷がコード（糸）に達している場合は、使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。

タイヤ・チューブ・リムなどの交換・修理は、必ず購入先のご相談ください。（特別教育を受けた人が行なうように、法で決められています）

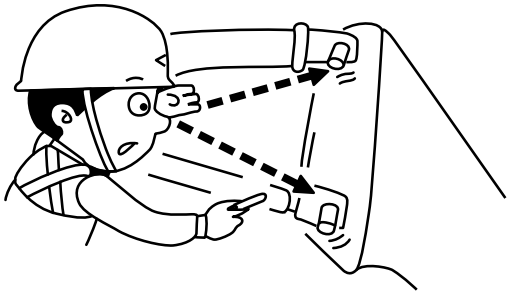
【守らないと】
空気の入れ過ぎは、タイヤ破裂のおそれがあり死 傷事故を引き起こす原因になります。





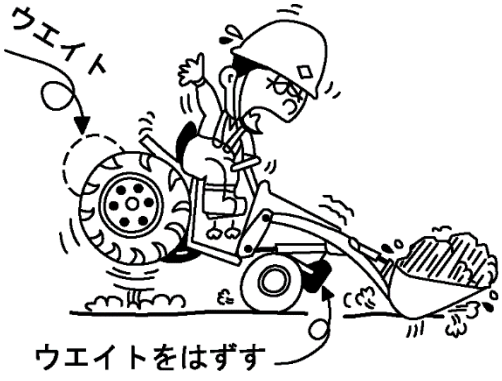
補　足

● **各部のボルト・ナットなどのゆるみや、ピンの脱落がないか確認する。**
● その他、破損箇所（材料・溶接割れなど）がないか確認する。
【守らないと】
事故やケガ、ローダの故障につながるおそれがあります。



補　足

● **トラクタの後部にウエイト（約180kg）・または後部作業機を取付ける。前部ウエイトをはずす。**
【守らないと】
トラクタのブレーキが効きにくく、バランスも悪くなり、傷害事故となるおそれがあります。

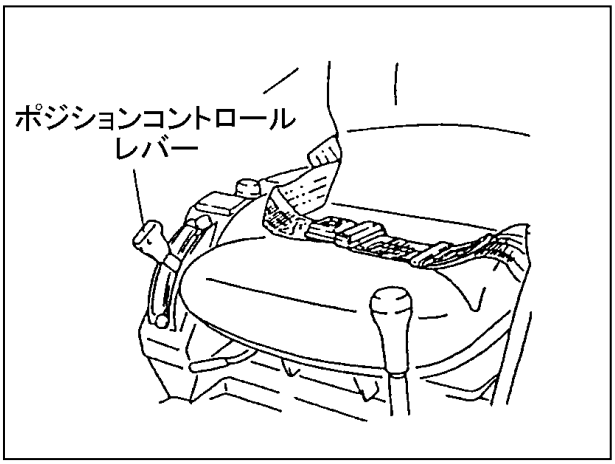


■ 操作方法

１．ローダの操作

（１） エンジンを始動します。

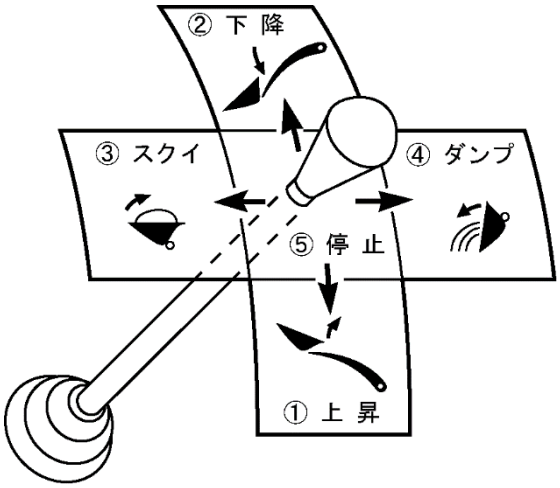
（２） トラクタの「ポジションコントロールレバー」を最上位にします。



（３） 傾斜・耕深自動スイッチおよび「クイックターン」「ABターン」スイッチを切ります。

（４） 油圧リフトロッドノブを右へいっぱい回します。（ロータリなどの落下防止のため）

（５） ローダの「１本レバー」を操作してリフトアームの「上昇←→下降」、アタッチメントの「スクイ←→ダンプ」操作をおこないます。



取扱注意

操作詳細については、別書**「取扱説明書」**をお読みください。

⚠警 告

ローダ作業時は「クイックターン」「ABターン」を作動させない。

【守らないと】

積荷を上げて旋回すると転倒する可能性があり、死亡を含む傷害事故となるおそれがあります。

２．ロータリなどの後部作業機の操作

補　足

- ローダと後部作業機はそのままで併用できます。（交互に使用可）
- 外部への油圧取出方法については、トラクタおよび後部作業機の取扱説明書もあわせてお読みください
- ローダと後部作業機の複合操作をおこなう時は周囲の安全に十分注意して作業してください。
- ローダ作業以外の作業をおこなう時は、リフトアームを取りはずしてください。

【ＭＥＭＯ】